

アーカイブの作成について

1 知事との意見交換会(令和2年12月23日開催)での意見交換の概要 (皆様からいただいたご意見)

- ① この事案を県政の教訓とするため、アーカイブの作成が検討されているが、これまで県が行ってきた行政対応の検証は、硫化水素発生以前に限られており不十分である。
なぜ業者の違法性を見抜けなかったのか、なぜ住民と対策工法についての合意がなかなかできなかったのか、県はしっかり総括すべきであり、当時の職員へのヒアリングが必要である。
- ② アーカイブの作成については、内容は十分検討したらよいが、後世に残すことで、同様の事案を発生させないために、有益にしてほしい。

(知事の回答)

- ① 当時の県の対応や事案の総括をするために、当時の職員からヒアリングすることも重要だと思うので、どのようなやり方がよいのか考えたい。
既に退職した職員等に対しても、住民の皆様方のために、将来のために力を貸してほしいということをご誠心誠意伝えながら、ヒアリング等考えてまいります。
- ② このような問題を二度と起こさないよう教訓にし、またアーカイブ等で検証していくことが、ご迷惑をかけたことに報いていく道であると考えている。
この事案についてアーカイブを作成していこうと考えており、皆様からお話を伺い総括していくことを考えている。

2 今後の進め方

- ① 記録のまとめ
 - ・ 掘削された廃棄物の状況、対策工事の内容等の整理
- ② RD問題の振り返り
 - ・ 住民の皆様との話し合い

※ 次回の連絡協議会で、今後の進め方を含め具体化に向けた協議をスタートしていきます。